

JAISTがめざす「知的にたくましい」人材

かつての工業化社会が求めていた人材

【生産性重視・正解主義】

- ・生産性や所与の問題を効率よく解く能力を重視
- ・階層型組織の団結や求心力、組織の均質性を重視(一致団結・一枚岩)

【日本人の「綺麗な履歴」観】

- ・大学と大学院で同じ分野の勉強をし、終身雇用を前提とする「シンプルな履歴」

人間に求められる能力は情報機器では代替されない能力へと変化



グローバル人材の養成が必要

知識社会が必要とする知的にたくましい人材

【正解のない課題】

- ・知識そのものや正解の決まっている問題を解く能力ではなく、思考力、判断力、推理力、交渉力、独創性など定型化できない能力を重視
- ・組織内のダイバーシティを重視(人間力重視)

【多様な専門】

- ・大学と大学院で専門分野を変え、広く高度なキャリアに挑戦。就職後も継続的に自らのキャリアを開発(多様な履歴)

知識社会が求める人材の育成は、ダイバーシティ環境に富み、専門分野が融合しあう大学院大学(JAIST)が担う重要な役割

知的たくましさ

幅広い経験と知を求める挑戦力

不断のチャレンジ精神

何かを変える勇氣

決してくじけない粘り強さ

どの世界でも成功できる力

未来ニーズを顕在化し、社会や産業界のリーダーとなる「知的にたくましい」人材